

# コウシュンカズラ

じゅんげつめつ き く  
準絶滅危惧

か めい  
科名 キントラノオ

べつ めい  
別名

がくめい  
学名 *Tristellateia australasiae*



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶ  
分 布 おきなわほんとう いらおもてしま いしがきしま よなぐにしま  
沖縄本島、西表島、石垣島、与那国島、  
たいわん どうなん どう  
台湾、東南アジア等

は かたち  
葉 の 形 ちょうだえんけい  
長楕円形

は ぶち  
葉 の 縁 ぜんえん  
全縁

は さき  
葉 の 先 えいけい えいせんけい  
鋭形、鋭尖形

は しゆるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた たいせい  
葉 の 付方 対生

は きぶ えんけい  
葉 の 基部 円形

み しゆるい  
実 の 種類

はな がくいろ きいろ  
花・萼色 黄色

せつ  
めい  
明 琉球のマングローブ林や海岸の日当たりの良いところに生育し、高さ10mに達する常緑のツル性の木です。葉は対生し薄い革質、長楕円形で長さ5-14cmです。葉先は鋭尖形、葉柄の基部には1-2個の蜜を出すところがあります。径約2cmの黄色い花が葉腋から総状花序に咲きます。実はやや球形で約12mmです。